



SGホールディングス株式会社

東京都立富士森高等学校
&
工学院大学附属高等学校



東京都立富士森高等学校と工学院大学附属高等学校のみなさん

『佐川急便 高尾100年の森』里山体験！

SGホールディングスグループでは、高知県・徳島県および東京都八王子市(高尾)に合計約735ヘクタール(東京ドーム約160個分)の森林を自社保有しています。これらの森林保全を通じて、CO₂の吸収源とするとともに、環境コミュニケーションや環境教育の場としても広く提供しています。

「佐川急便 高尾100年の森(東京都)」では、人と自然が共生し、100年先も続く持続可能な里山を再生・保全する活動を2007年にスタートさせました。今回、八王子市にある2高校の生徒が環境研修に参加し、SGホールディングスグループの環境への取り組みを学び、里山の保全活動を体験。研修の最後に、「高校生環境宣言」を発表しました。

環境活動は物流事業者としての責務

SGホールディングスグループは、デリバリー・ロジスティクス・物流不動産などの事業を国内外で展開する総合物流企業グループです。車両を使用して事業を営む物流事業者として、環境負荷低減に取り組むことは大きな責務だと考え、グループ全体で地球環境に配慮したさまざまな活動を進めてきました。グループの中核である佐川急便は1997年COP3が創業の地・京都で開催されたことを契機に、事業活動を通じてCO₂排出量の削減、地域社会と連携した環境負荷の低減、循環型社会への貢献を目指してきました。環境対応車の積極導入(約8,000台)、台車や自転車を用いて人力で集配を行うサービスセンターの設置、ペットボトルをリサイクルしたユニフォームの採用などが主な代表例です。一方、豊かな自然との共生を目指して森林保全活動に取り組んでいます。佐川急便、佐川林業は定期的な間伐を行うなどCO₂の吸収源となる健全な森林を育成するとともに、そこに生息する動植物の生物多様性の保全にも取り組んでいます。

社有林を活用した次世代の環境教育

佐川急便が所有する森林「高尾100年の森」は、2016年3月東京都八王子市より環境教育等促進法に基づく「体験の機会の場」に認定され、里山保全を通じた次世代の環境教育を行っています。今回その「高尾100年の森」において、「初めての里山体験～豊かな自然を考える」をテーマにした高校生環境研修を実施しました。当日は里山ガイドウォークやアオキ刈りなどの森林保全作業を体験して里山に親しみました。とくにアオキ刈りでは高校生らしい力強さを発揮し、当初と見違えるほどの作業成果を出していました。また今後、環境のために取り組むことについて、高校生同士が積極的な意見交換を行い、最後には両校による「高校生環境宣言」をとりまとめました。今回の研修を通じて、企業が行う持続可能な社会への貢献と、個人ができる貢献について学び、自分たちは何ができるかを考え、行動につなげることが必要なのではないのでしょうか。



里山ガイドウォーク



アオキ刈り

東京都立富士森高等学校 アウトドア部

佐古結希さん(2年) 樋口真人さん(2年) 藤原大虎さん(1年)



高校生環境宣言

「CO₂を削減する」

環境への負荷を低減していく企業や個人が増えていったらよいと思う。校内にてマイボトル所持を促すポスター等を貼る。

工学院大学附属高等学校 生徒会・自然科学部

近藤優成さん(1年) 中林在さん(2年) 栗田海さん(2年) 青木健悟さん(1年)



高校生環境宣言

「より多くの生徒に環境体験の参加を促し、より広い視野で環境について考える。」
様々な環境体験を一般生徒にも参加できるような機会を増やし、世界中の環境問題をどのように解決できるかを考えていく。